

## 看護学専攻

### A 欧 文

#### A-a

1. Kaku N, Seki M, Doi S, Hayashi T, Imanishi D, Imamura Y, Kurihara S, Miyazaki T, Izumikawa K, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Tashiro T, Kohno S : A case of intravascular large B-cell lymphoma (IVLBCL) with no abnormal findings on chest computed tomography diagnosed by random transbronchial lung biopsy. *Intern Med* 49(24): 2697-701, 2010 (IF: 1.040)\*
2. Araki M, Nishitani S, Ushimaru K, Masuzaki H, Oishi K, Shinohara K: Fetal response to induced maternal emotions. *J Physiol Sci* 60(3): 213-220, 2010 (IF: 0.973)\*
3. Cox K, Yamaguchi S: Japanese Graduate Nursing Students' Perceptions of the Teaching Performance of an Intercultural Teacher. *Nursing Education Perspectives* (<http://www.nlnjournal.org/toc/nhcp/31/3>) 31(3): 156-159, 2010
4. Ohnishi M, Nakamura K: Underserved adolescent orphans' knowledge regarding sexually transmitted infections and HIV/AIDS and sexual behaviour in a setting with a high prevalence of HIV. *Japanese Journal of Health and Human Ecology* 76 (6): 237-251, 2010

#### A-c

1. Matsuo A, Nagae M, Takada S, Hanada H: Sexual acting out in an adolescent in a dysfunctional family. 2nd Japan China Korea Nursing Conference, p.114-115, 2010
2. Nagae M, Hanada H: Roles of Outpatient Nurses in Child and Adolescent Psychiatry. 2nd Japan China Korea Nursing Conference, p.118-119, 2010
3. Nakao R, Tanaka M, Ishimatsu T: Tele care system of elderly and disabled people living in islands—case study. The 12th International Symposium of Geospatial Information Science and Urban Planning, GISUP 2010 International. 67-71,2010

#### A-d

1. Araki M, Nishitani S, Miyamura T, Masuzaki T, Oishi K, Shinohara K: Fetal response to Mozart's Music. *Acta Medica Nagasakiensia* 55: 7-13, 2010
2. Ohnishi M: JICA Proyecto PASOS, Región Sanitaria Departamental #15, Secretaría de Salud Honduras. *Guía para los servicios amigables para adolescentes*. Olancho, JICA-Honduras, 2010
3. Ohnishi M: JICA Proyecto PASOS, Región Sanitaria Departamental #15, Secretaría de Salud Honduras. *Informe del estudio de termino-medio*. Olancho, JICA-Honduras, 2010

### B 邦 文

#### B-a

1. 橋爪可織, 楠葉洋子, 山口智美, 黒田裕美, 岡田純也, 田川 泰, 浦田秀子: 連想法による成人看護学実習に向けた学習支援プログラム(サマーセミナー)の評価—事例による看護過程の展開と看護技術演習の実施—. *保健学研究* 22 (2) :17-24,2010
2. 松田勝也, 中島久良, 梅崎 靖, 岡 真左子, 濱口大輔, 黒崎真紀, 山崎健太郎, 三浦清徳, 森山伸吾, 増崎英明: 若年性内膜癌の内膜細胞診に関する検討. *Kyushu Bran. Jap. Soc. Clin. Cytol.* 41: 101-307, 2010
3. 東嶋美佐子, 田平隆行, 中川弘己, 井口 茂, 中尾理恵子, 大町いづみ, 中原和美, 川崎涼子, 新田章子, 松坂誠應: ディケア利用者における摂食機能障害徴候に関する実態調査. *日本作業療法研究学会雑誌* 12 (2): 25-30,2010
4. 横尾誠一, 大町いづみ, 井上高博: 精神障害者のスピリチュアリティへの影響要因の検討. *日本精神保健看護学会誌* 19(1): 84-93,2010
5. 大山祐介, 浦田秀子, 楠葉洋子: 周手術期を通してとらえた人工股関節全置換術を受ける患者の病気および手術と生活体験の分析. *日本整形外科看護研究会誌* 5: 40-47, 2010
6. 田川奈保子, 宮原春美: 助産学生の入学動機と職業的アイデンティティ, 第41回日本看護学会論文集: 54-57,2010
7. 荒木美幸, 中尾優子, 大石和代: 継続受け持ち事例の女性にとって「支え」となった学生の関わりについて. *日本助産学会誌* 24(1): 65-73, 2010
8. 崎本 瞳, 中村エリナ, 山口美由貴, 楠葉洋子: 療養病棟を退院する患者およびその家族の不安の分析. *日本看護学会論文集* 40号: 18-20, 2010

9. 楠葉洋子, 瀧健治: CO中毒に対する HBO は有効か?—酸化炭素中毒の全国多施設調査から. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会誌 7(6):112-116, 2010
10. 岡田純也, 塩田直美, 鳥瀬留美, 岩下陽子: 整形外科病棟における KYT の効果. 日本整形外科看護研究会誌 5:48-54, 2010.
11. 安藤悦子, 吉田美也子, 岩田千波, 益富美津代, 岩永喜久子, 山口智美: ホスピス・緩和ケア病棟におけるデスクカンファレンスの機能—ホスピス・緩和ケア病棟師長の視点より—. 死の臨床 33(1):126-132, 2010

### B-b

1. 掛屋 弘, 田代隆良: アスペルギローマ患者におけるイトラコナゾールの血中濃度と効果および安全性の検討. 深在性真菌症-SFI Forum-. 6(1):38-41,2010.
2. 大町いづみ, 楠葉洋子: 一般病院勤務看護師の背景とターミナルケア態度との関連要因. 日本がん看護学会誌 24:155, 2010
3. 大町いづみ, 中原和美, 糸山景大, 浦田秀子, 長尾哲男, 井口 茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子, 新田章子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第4報)1年次「入門科目実習」の連想法による情意面の測定. 日本リハビリテーション連携科学学会第11回大会論文集 11(1):75,2010
4. 中原和美, 大町いづみ, 糸山景大, 浦田秀子, 長尾哲男, 井口 茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子, 新田章子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第3報)1年間の概念形成状況の変化日本リハビリテーション連携科学学会第11回大会論文集 1(1):75,2010
5. 横尾誠一, 大町いづみ, 吉原麻由美, 松島由美: 訪問看護師の看取りへの態度に関連する要因 日本在宅ケア学会学術集会講演集 14:117,2010
6. 森藤香奈子, 佐々木規子, 宮原春美, 松本 正: きょうだいの語りから考える家族支援—ダウン症者をきょうだいにもつご家族のお話を聞く会の開催—, 日本遺伝看護学会誌, 9(1):19, 2010
7. 久保喜代子, 山口智美: 「お任せします」の意味分析からみた婦人科がん患者4事例の自己決定. 死の臨床 33(2):235, 2010
8. 植松仁子, 島下 恵, 山口智美: 一般病棟における終末期患者ケアとしての意図的タッチングの効果. 死の臨床 33(2):264, 2010

### B-c

1. 田代隆良: ウイルス性感染症(感冒症状など). (山口 徹, 北原光男, 福井次矢(総編集): 今日の治療指針2010年版, 医学書院, 東京, pp197-198 所収). 2010
2. 古川恵一, 田代隆良, 藤田紘一郎: 感染症(岡庭 豊(編): イヤーノート内科・外科編2011年版, メディックメディア, 東京, ppH1-H106 所収), 2010
3. 中川慎介, 田中邦彦, 田川 泰, 丹羽正美: 分子脳血管病. 先端医学社 vol.9no.3, 17(265)-25(273),2010
4. 中島久良: 附属器2. (日本臨床細胞学会教育委員会(編): 第35回細胞診断学セミナーテキスト, 日本臨床細胞学会教育委員会, 東京, pp.73-79 所収) 2010
5. 中島久良: 附属器2. (日本臨床細胞学会教育委員会(編): 第35回細胞診断学セミナー症例集, 日本臨床細胞学会教育委員会, 東京, pp.53-62 所収) 2010
6. 中島久良: 地方会便り・長崎県支部会便り. 日本細胞診断学推進協会細胞診専門医会報 No.43: 20-21, 2010
7. 山口大志, 川口佐登美, 洲崎一宏, 富屋光介, 野川博文, 森山光則, 横尾誠一: 急性期治療病棟における実践的ケアに繋がる情報伝達方法改善への取り組み〜看護師の意識の変化〜. 第63回九州精神神経学会, 第56回九州精神保健学会プログラム・抄録集,166,2010
8. 手嶋無限,坂本仁美,水野恭伸,北市清幸,榊原隆三,林 俊介,牧山嘉見,川久保麻美,永峯卓哉,赤司千波,松本幸子,正木基文,新田章子,横尾誠一,大町いづみ,浦田秀子,麓伸太郎,中嶋幹郎,畑山 範: 日本医療薬学会年会講演要旨集 20,384,2010
9. 浦田秀子, 岡田純也: 中途障害者のセルフケア獲得へのケア b 脊髄損傷した人へのADL自立獲得へのケア. (寺崎明美(監修): 対象喪失の看護, 中央法規, 東京, pp186-194 所収)2010

### B-d

1. 田代隆良, 井上美穂, 澤瀬いづみ, 中村友紀, 西島美紀, 馬場綾乃, 長岡清子: 特定健康診査・特定保健指導の効果に関する検討. 保健学研究, 22 (2) :1-8, 2010
2. 横尾誠一, 吉原麻由美, 松島由美, 大町いづみ: 訪問看護師のターミナルケア態度に関連する要因の分析—一般病院看護師との比較. 保健学研究 22(2)37-43, 2010

3. 松成裕子, 横尾誠一, 井上晶代, 高村 昇, 大石和代, 松本 正: 放射線医療における専門看護師養成教育カリキュラム開発について-看護教育内容の抽出とカリキュラム構築-. 保健学研究 22(2),65-69,2010
4. 大西真由美, 中尾理恵子, 川崎涼子, 大石和代: 平成21年度英国リプロダクティブ・ヘルスならびに地域保健研修報告. 保健学研究 22(1): 71-77, 2010
5. 楠葉洋子, 平智津美, 岩下香奈美, 井上澄子, 原口恵子, 四辻由紀, 泉 富代, 吉田律子, 浦田秀子: 外来と病棟に勤務する看護師のストレスとその関連因子. 保健学研究 22 (2) : 27-35, 2010
6. 橋爪可織, 楠葉洋子, 山口智美, 黒田裕美, 岡田純也, 田川 泰, 浦田秀子: 連想法を用いた成人看護学実習に向けた学習支援プログラム(サマーセミナー)の評価. 保健学研究 22(2): 27-25, 2010
7. 松成裕子, 横尾誠一, 花田裕子, 野村亜由美, 宮原春美, 楠葉洋子, 河村靖子, 濱野香苗: IBL学習法の看護学概論への適応. 保健学研究 23 (1) : 17-24, 2010
8. 濱野香苗, 森藤香奈子, 佐々木規子, 山崎真紀子, 宮原春美, 井上晶代, 松本 正: 遺伝公開講座「遺伝について楽しく学ぼう」の開催と評価. 保健学研究 23 (1) : 17-24, 2010
9. 荒木美幸, 西谷正太, 牛丸敬祥, 増崎英明, 大石和代, 篠原一之: 妊婦の情動に対する胎児の反応. 長崎医学会雑誌 85(2): 102-103, 2010
10. 岡田みずほ, 天ヶ瀬智子, 小森知加子, ニノ宮実知子, 元川津留美, 森 豊子, 下田澄江, 岡田純也: 新人看護師および再就職看護師の基礎看護技術の修得状況. 保健学研究 22 (1) : 57-65, 2010.
11. 森藤香奈子, 佐々木規子, 山崎真紀子, 井上晶代, 濱野香苗, 宮原春美, 松本 正: 遺伝公開講座「遺伝について楽しく学ぼう」の開催. 長崎大学生涯学習叢書7 大学の社会貢献, pp.67-73, 2010
12. 森 英恵, 山口智美, 高崎優子, 川原 隆: 感染管理現任教育への展開: 標準予防策に対する看護師の認識に関する文献研究. 保健学研究 22(2): 51-57, 2010
13. 大西真由美, 中尾理恵子, 川崎涼子, 大石和代. 平成21年度英国リプロダクティブ・ヘルスならびに地域保健研修報告. 保健学研究 22 (2): 71-77, 2010
14. 大西真由美, 中尾理恵子. 晋州保健大学との交流プログラム実施報告. 保健学研究23 (1):31-35, 2011
15. 大西真由美, 大石和代, 入山茂美, 黒田裕美, 横尾誠一. カウアイ・コミュニティ・カレッジとの交流プログラム実施報告. 保健学研究 23 (1): 37-41, 2010
16. 新田章子, 中尾理恵子, 川崎涼子, 中原和美, 藤崎 郁, 井口 茂: 高齢者の介護予防に影響を及ぼす要因 - 性差と主観的健康感の観点から -. 保健学研究 23 (1) : 1-8, 2010
17. 松井美帆, 新田章子, 川崎涼子, 中村梓子, 岩下友華: 認知症グループホーム職員における看取りの意識. Hospice and Home Care 18(1): 9-12, 2010
18. 吉村俊朗, 川崎涼子, 中野治郎: 長崎県カネミ油症検診者の血清アルドラーゼ, 血清 CK 年次変化と骨密度と骨代謝マーカー. 平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業「食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究」平成22年度総括・分担研究報告書 35-46,2011.3.

### 原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2010	4	0	3	3	10	2	11	8	9	18	46	56

### 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2010	0	1	21	22	6	5	82	93	115

### 原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2010	0.179	0.303	0.2	0.061

### Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2010	2.013	0.061	1.007